

12月の 園便い

2019年 新潟青陵幼稚園 園長 加藤 由美子

登園した赤ばらのはるひ君、ニコニコ顔で職員室に入ってきました、ニコニコのお顔ではありましたが、はすかしそうに体をよじって、くねくね状態です。いつもなら「園長先生、何してんの？」とフレンドリーに話しかけてくる はるひ君 なのですが…??

加藤「どうしたの？何か言いたいことがあるのね、聞きますよ…」

はるひ君は、くねくね状態のままビー玉が4個入ったビニール袋を差し出してくれました。

加藤「間違っておうちにもっていったのね。返してくれてありがとう」

はるひ君「・・・ニコニコくねくねニコニコくねくね…」

お母さんは手をつないでそばにいてくださいましたが、はるひ君が自主的にできるようにじっと待っていてくださいました。人として生きるための方法・・・自分のものじゃないものを間違っって家に持ち帰ってきたときには、こうして、返すといいのよとお母さんに教えてもらっていた はるひ君です。子どもたちがこれから、いろいろなことに出会い、いろいろなことをしていくことと思いますが、その一つひとつを“こんな時にはこうするといいよ”と一緒にやって教えてあげることが必要です。

先日、絵本の全ページがぶよぶよになったものを（たぶん、水で濡れた）絵本係さんが見つけてくださいました、乾かして返却したようですが、でも、こんな時は、とっても“いい機会”なのです。「水がこぼれて絵本が濡れてしまいました、すみません。」と言って、きちんと謝る姿を見せることができたのに、残念ですね・・・小さい頃にお母さんと一緒に体験してきたことは、大きくなってからも、その体験が生きて働いて、“そうだ、こんなときにはこんな風にするといいのだ”と思えますね。これが社会を生きていく時の大事な引き出しとなるのだらうと思います。“生き方を伝える”これはご両親はじめご家族の役割であり、また保育者の役割でもあります。

コメリのトイレに“トイレットペーパーを持ち帰らないで下さい”とあります。駅のトイレには「家庭のごみを持ち込まないで下さい」とあります…日本人はプライドを捨ててしまったのでしょうか？ こんなことをしていたら、子どもたちはトイレットペーパーは公衆トイレから持ってくるもの、ごみは公衆トイレに置いてくるものと思って、育ってしまいます…!! 幼稚園では保育者たちが、子どもたちが生活する中で起こるさまざまなことに対して、どうすればいいのか、こんな時はこうしようよ、あんな時はこうしてみようよ、とその場その場で取るべき行動を丁寧に伝えていきます。これは青陵の“人格の基礎”を育てる教育です。子どもたちは生きる方法を学び始めたばかりです。この時期の体験を大切にしましょう。



12月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	日	/	/		
2	月	○	2:00		
3	火	○	2:00		
4	水	○	2:00		
5	木	○	2:00		
6	金	○	2:00	保護者の皆様の味噌作りが行われます。	
7	土	/	/	OBの皆様の味噌づくりが行われます。	
8	日	/	/		
9	月	○	2:00		
10	火	○	2:00		
11	水	×	11:30	誕生会です、12月生まれさんの保護者の方と一緒に祝いましょう	
12	木	○	2:00		
13	金	○	2:00		
14	土	×	/	アドヴェントの庭です。詳細は各クラスのお便りをご覧ください。	
15	日	/	/		
16	月	○	2:00		
17	火	○	11:30	個人懇談会を行います。 午前保育ですのでよろしくお願いいたします。	
18	水	×	11:30	個人懇談会を行います。 午前保育ですのでよろしくお願いいたします。	
19	木	×	11:30	個人懇談会を行います。 午前保育ですのでよろしくお願いいたします。	
20	金	×	11:30	第2学期終業式を行います。	
21	土	/	/		
22	日	/	/		
23	月	/	/	冬休みです、星の子は行います。	
24	火	/	/	〃	
25	水	/	/	〃	
26	木	/	/	〃	
27	金	/	/	〃	
28	土	/	/	冬季休業日	
29	日	/	/	〃	
30	月	/	/	〃	
31	火	/	/	〃	